

① 医師によるリスク評価を行う

内内分泌・糖尿病内科
テンプレート内
「糖尿病透析予防指導計画書」

カルテモード 消化器・肝臓内科 診察済
カルテ 症状・予防等 積診・予防等
カルテ破棄

Preview

【身体状況】
◎身長: cm ◎測定日: ○体重: kg
◎BMI: kg/m² ○IBW: kg 身長・体重をプロファイル

【臨床データ】
◎HbA1c % ◎測定日:
◎血中Cre mg/gCre ◎測定日:
◎e-GFR ml/min/1.73m² ◎測定日:
◎尿蛋白 ml/min ◎測定日:
◎アルブミン尿 mg/gCr ◎測定日:
◎収縮期血圧 mm/Hg ◎測定日:
◎拡張期血圧 mm/Hg ◎測定日:

【慢性合併症】*任意
◎神経障害 ○無 ○有
◎網膜症 ○正常 ○单纯 ○増殖前 ○増殖
◎動脈硬化性疾患 ○無 ○有 [冠動脈硬化症 ○脳血管障害 ○末梢動脈疾患]
◎足病変 ○無 ○有
◎歯周病 ○無 ○有
◎高血圧 ○無 ○有

【生活習慣】*任意
◎喫煙 ○無 ○有

***** 指示事項 *****

【食事指導】
◎エネルギー量: ~ kcal/日
◎たんぱく質: ~ g/日
◎食塩: ~

【生活指導】
◎腎症の悪化要因と検査
◎血压の管理
◎生活スタイルの改善の相談と目標の設定
◎自己管理の確認
◎感染予防
◎目標の評価・再設定

ツール
カルテ
患者登録
看護
病棟
マスター登録
ツール
部門業務
申込・予約調整
処置・注釈
在宅療養指導
台紙出力
化学療法

ログアウト

② 医師入力画面

ログインすると自動で医師名、評価日は展開される。

任意入力

【身体状況】
◎身長: cm ◎測定日: ○体重: kg ◎測定日:
◎BMI: kg/m² ○IBW: kg 身長・体重をプロファイルから読み込み BM・BWを計算

【臨床データ】
◎HbA1c % ◎測定日:
◎血中Cre mg/gCre ◎測定日:
◎e-GFR ml/min/1.73m² ◎測定日:
◎尿蛋白 ml/min ◎測定日:
◎アルブミン尿 mg/gCr ◎測定日:
◎収縮期血圧 mm/Hg ◎測定日:
◎拡張期血圧 mm/Hg ◎測定日:

【慢性合併症】*任意
◎神経障害 ○無 ○有
◎網膜症 ○正常 ○单纯 ○増殖前 ○増殖
◎動脈硬化性疾患 ○無 ○有 [冠動脈硬化症 ○脳血管障害 ○末梢動脈疾患]
◎足病変 ○無 ○有
◎歯周病 ○無 ○有
◎高血圧 ○無 ○有

【生活習慣】*任意
◎喫煙 ○無 ○有

***** 指示事項 *****

【食事指導】
◎エネルギー量: ~ kcal/日
◎たんぱく質: ~ g/日
◎食塩: ~

【生活指導】
◎腎症の悪化要因と検査
◎血压の管理
◎生活スタイルの改善の相談と目標の設定
◎自己管理の確認
◎感染予防
◎目標の評価・再設定

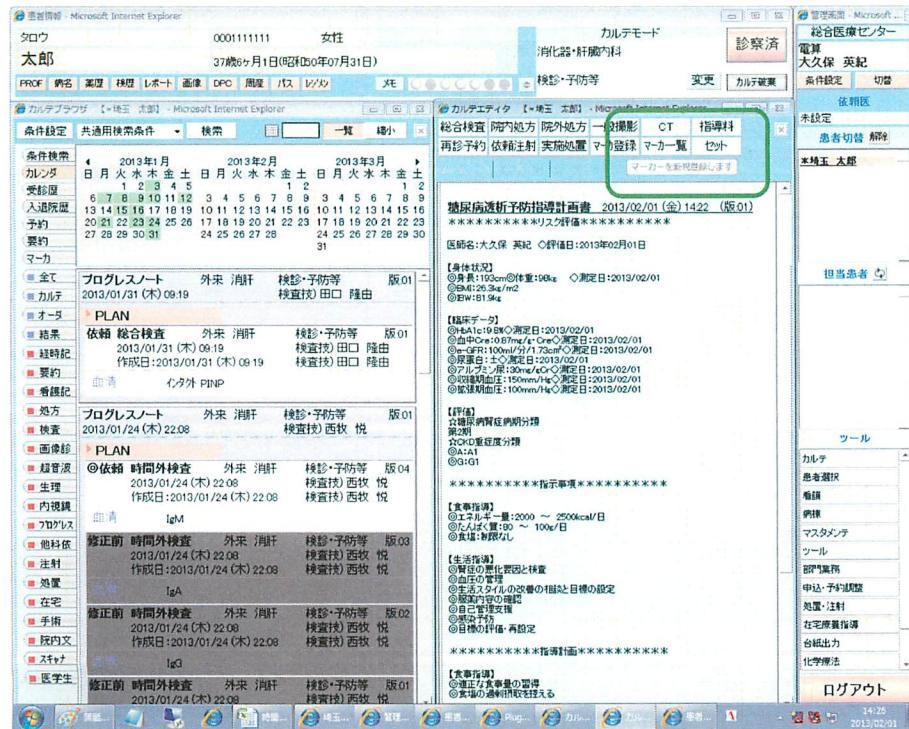
ツール
カルテ
患者登録
看護
病棟
マスター登録
ツール
部門業務
申込・予約調整
処置・注釈
在宅療養指導
台紙出力
化学療法

ログアウト

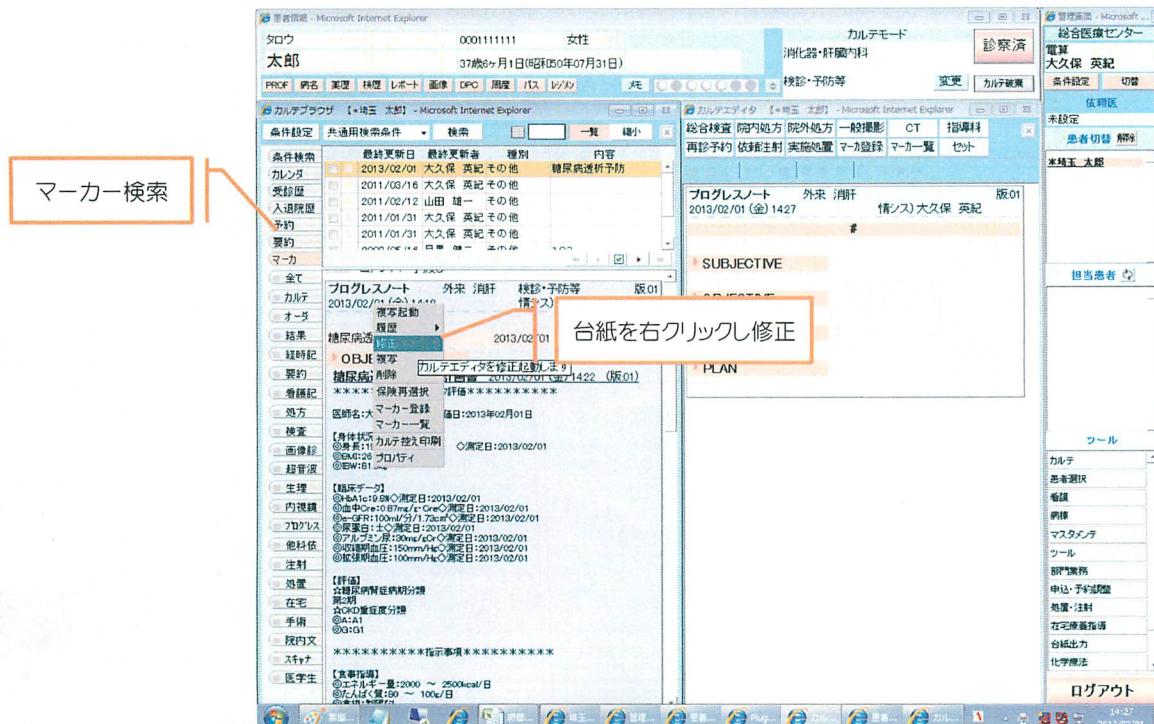
入力が必須。
病気分類を選択することで、「指示事項」や「指導計画」の項目が紐付けされている。

最後に確定

③ マーカー登録し、保存する



④ 管理栄養士及び看護師による指導計画書作成



⑤ 管理栄養士及び看護師入力画面

【管理栄養士入力】

リスト評価・指導事項(医師入力) | 指導計画(管理栄養士入力) | 指導計画(看護師入力)

***** 指導計画 *****

【食事指導】

- ①適正な食事量の習得
- ②適正でないんではなく質量の習得
- ③食事の過多摂取を控える
- ④高熱食習慣の見直し
- ⑤飲酒習慣の見直し
- ⑥食事時間の見直し
- ⑦
- ⑧
- ⑨

管理栄養士名: 作成日: フォルダ選択

内容を確認

管理栄養士名、作成日を入力する

テキスト出力

確定 閉じる

テキスト出力で一括で複数の指導計画を出力する機能です。複数の指導計画を1回で出力することができます。

最後に保存中

【看護師入力】

リスト評価・看護目標(選択入力) 指導計画(管理栄養士入力) 指導計画(看護師入力)

*****指導計画*****

[生活指導・看護目標]

目標:患者があなた健痾管理を実現できる

- ①腎症の悪化防止と検査結果の説明を行う
- ②血圧の管理
- ③血圧の自己測定の指導
- ④血圧の正しい測定、血圧変動の原因と対応方法を説明する。
- ⑤生活スタイル(食事の組成と運動の設定)
- ・目標体重を達成するための方法を考える。
- ・糖尿病のある場合は運動法を指導する。
- ・特に、筋肉や血管の病気には注意する。
- ・中止までの運動療法について説明する。高齢により過激な運動は不可とする。
- ・体を維持する程度の運動は可能で、不全がある場合には軽め程度を説明する。
- ・疲労を感じない程度の生活の仕事、運動療法は散歩やラジオ体操を説明する。
- ・浮腫や心不全がある場合は、医師の指示により水分制限を行。
- ・増量運動の場合は、活動性の場合は高い運動は禁止、低血圧や血圧の急激な上昇、レンズズムラ等の副作用が発生しやすくなる。
- ・骨粗鬆症の予防法等について考える。
- ⑥自己管理における支援
- ・歩数、体重、血圧、血糖値のセンサフットモニタリング法
- ⑦薬物治療の内容や指導通り確認する
- ・低血糖症、片頭痛方法について説明する。
- ⑧感染予防対策の教育
- ・口腔ケア、フトツア、シックティの対話。
- ・口腔ケアの具体的な方法
- ・フトツアの具体的な方法
- ⑨腹痛や活動の目標の達成・再検定

内 容 を 確 認

自己管理における支援

歩数、体重、血圧、血糖値のセンサフットモニタリング法

薬物治療の内容や指導通り確認する

低血糖症、片頭痛方法について説明する。

感染予防対策の教育

口腔ケア、フトツア、シックティの対話。

口腔ケアの具体的な方法

フトツアの具体的な方法

腹痛や活動の目標の達成・再検定

看護師名: 作成日: [] タ

テキスト出力 確定 閉じる

テキスト出力にてカルテに展開した際には記載内容を2次利用するにはできません。

最後に確定

⑥ 保存する